

第 2 章

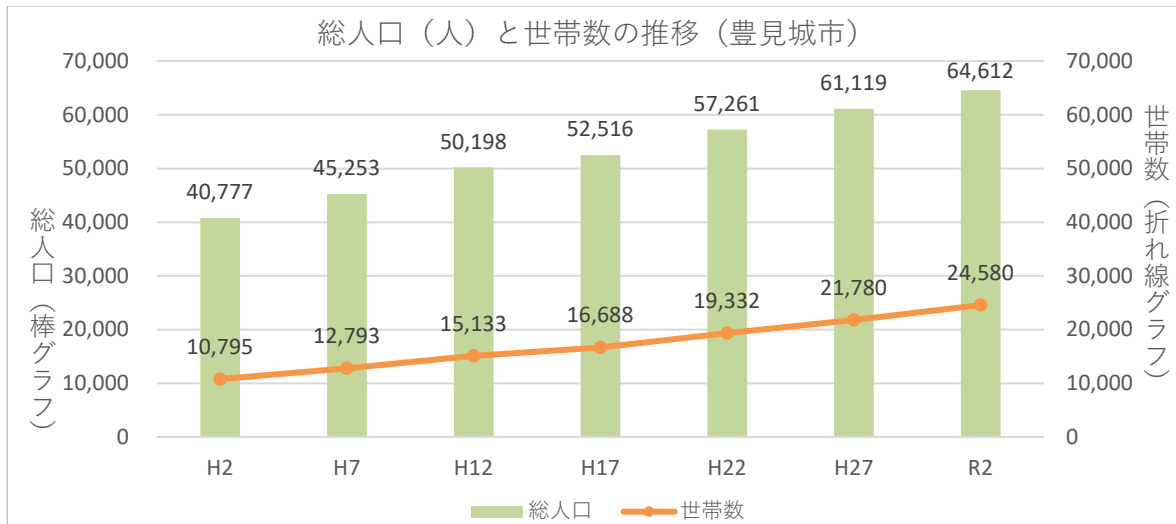
子ども・子育てを取り巻く状況

第2章 子ども・子育てを取り巻く状況

1. 統計データ分析

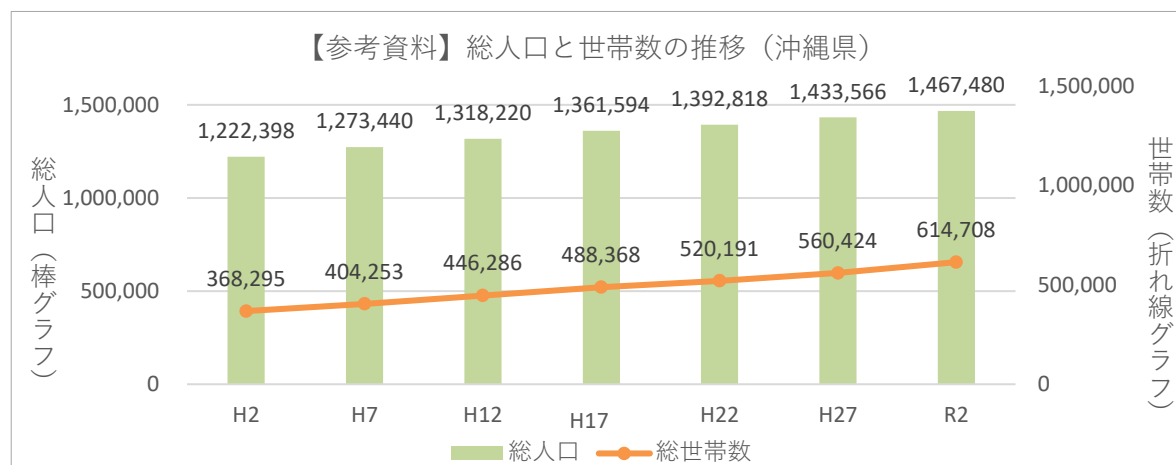
(1) 総人口及び世帯数の推移

本市の総人口は昭和20年以降、継続して増加を続け、令和2年において6万4千人を超えています。また、世帯数においても総人口同様に増加を続けており、令和2年で2万4千世帯を超えています。



年	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
総人口	40,777	45,253	50,198	52,516	57,261	61,119	64,612
総世帯数	10,795	12,793	15,133	16,688	19,332	21,780	24,580

出典：国勢調査（世帯数は総世帯から施設及び不詳を除いた一般世帯数）

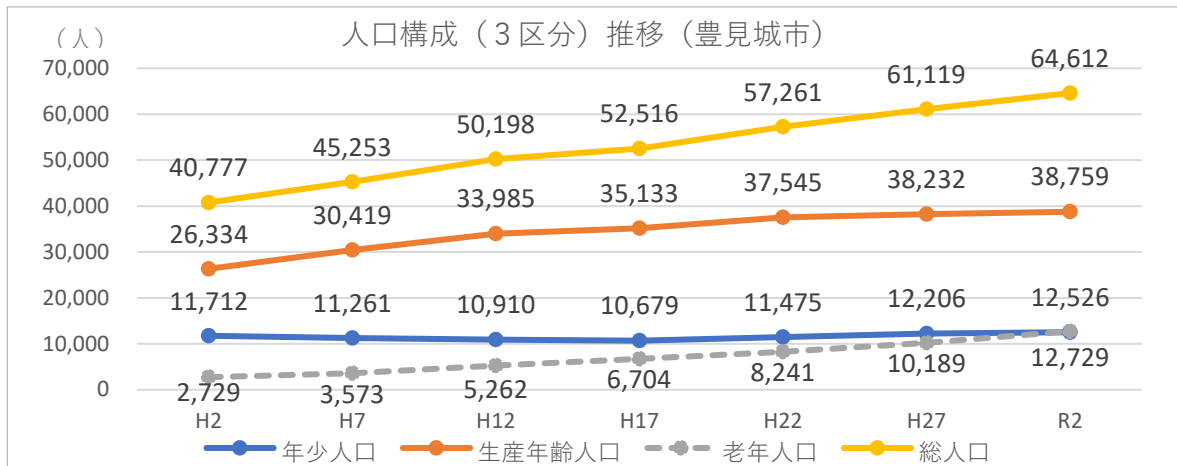


年	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
総人口	1,222,398	1,273,440	1,318,220	1,361,594	1,392,818	1,433,566	1,467,480
総世帯数	368,295	404,253	446,286	488,368	520,191	560,424	614,708

出典：国勢調査

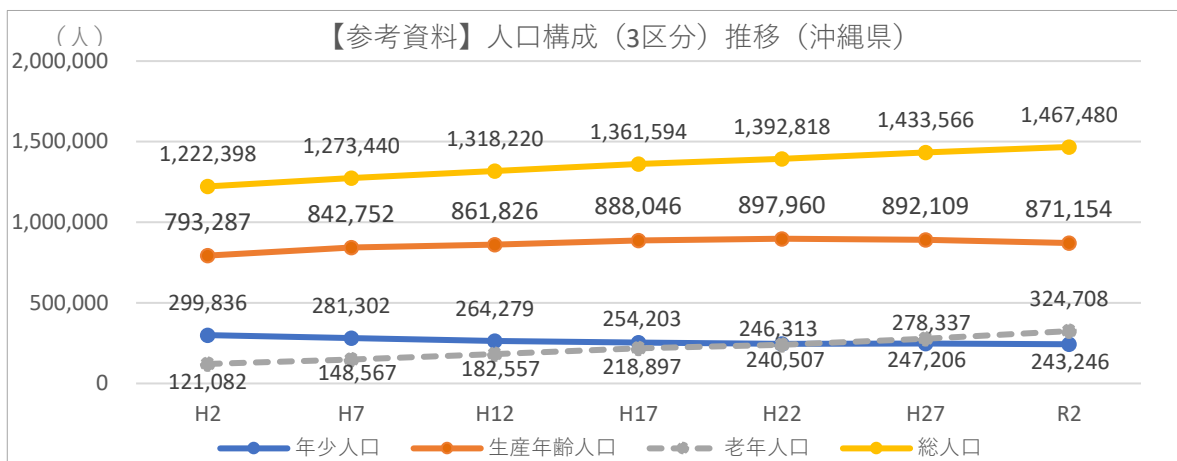
（２）年齢３区分別人口の推移

年齢３区分別人口の推移では、総人口に対する生産年齢人口の割合は県全体とほぼ同程度で緩やかではありますが増加傾向となっています。年少人口数は平成２年から減少傾向にありましたが、平成１７年から増加傾向に転じています。老年人口は平成２年以降、明らかな増加傾向が認められ、本市においても高齢化が進んでいることがわかります。



年	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
総人口	40,777	45,253	50,198	52,516	57,261	61,119	64,612
年少人口 (0-14 歳)	11,712	11,261	10,910	10,679	11,475	12,206	12,526
生産年齢人口 (15-64 歳)	26,334	30,419	33,985	35,133	37,545	38,232	38,759
老年人口 (65 歳以上)	2,729	3,573	5,262	6,704	8,241	10,189	12,729

出典：国勢調査

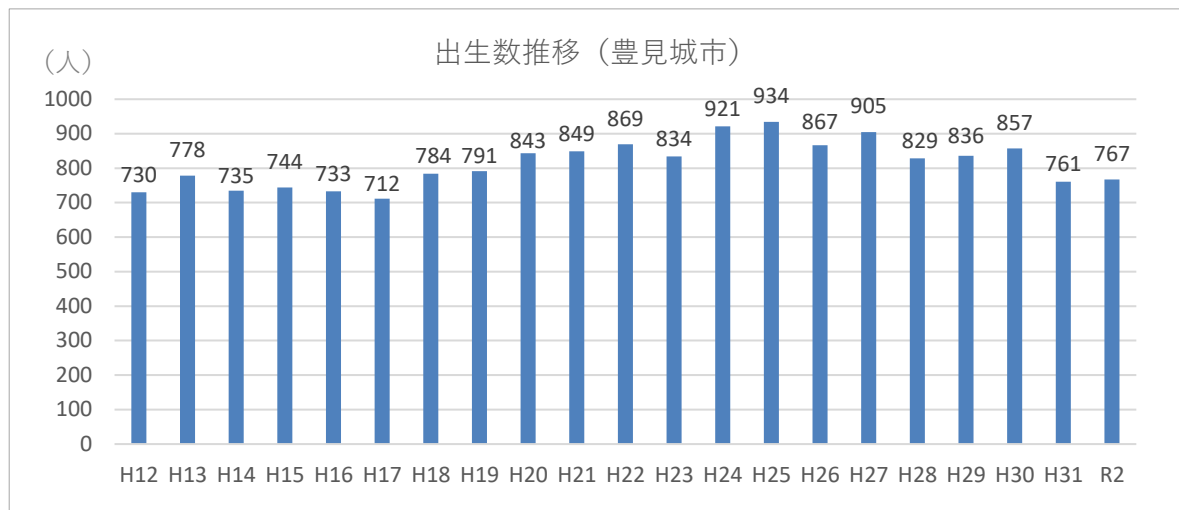


年	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
総人口	1,222,398	1,273,440	1,318,220	1,361,594	1,392,818	1,433,566	1,467,480
年少人口	299,836	281,302	264,279	254,203	246,313	247,206	243,246
生産年齢人口	793,287	842,752	861,826	888,046	897,960	892,109	871,154
老年人口	121,082	148,567	182,557	218,897	240,507	278,337	324,708

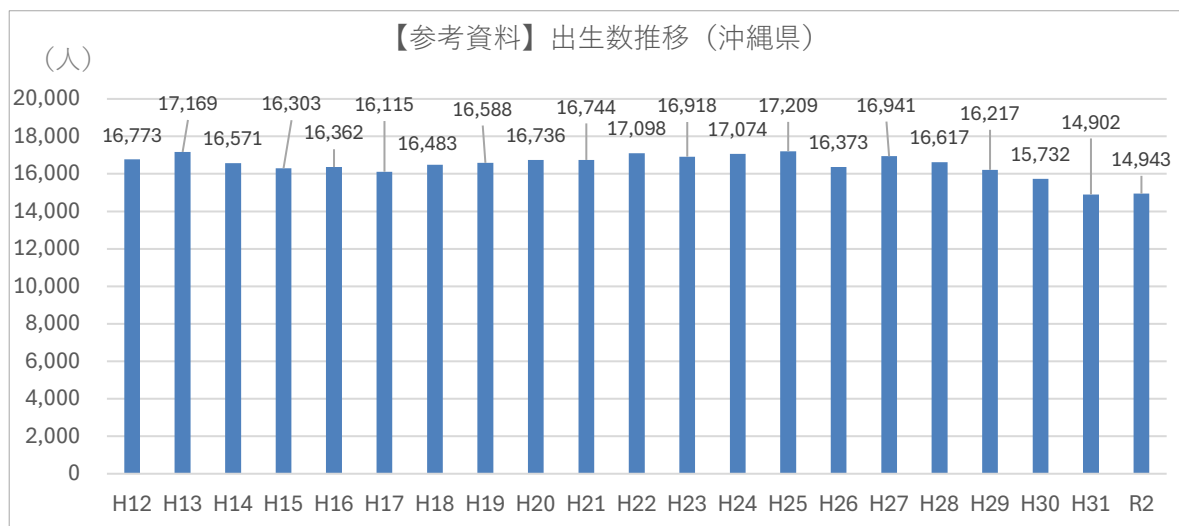
出典：国勢調査

(3) 出生の動向

本市の出生数は平成25年の934人をピークに増減を繰り返しながら減少傾向にあります。



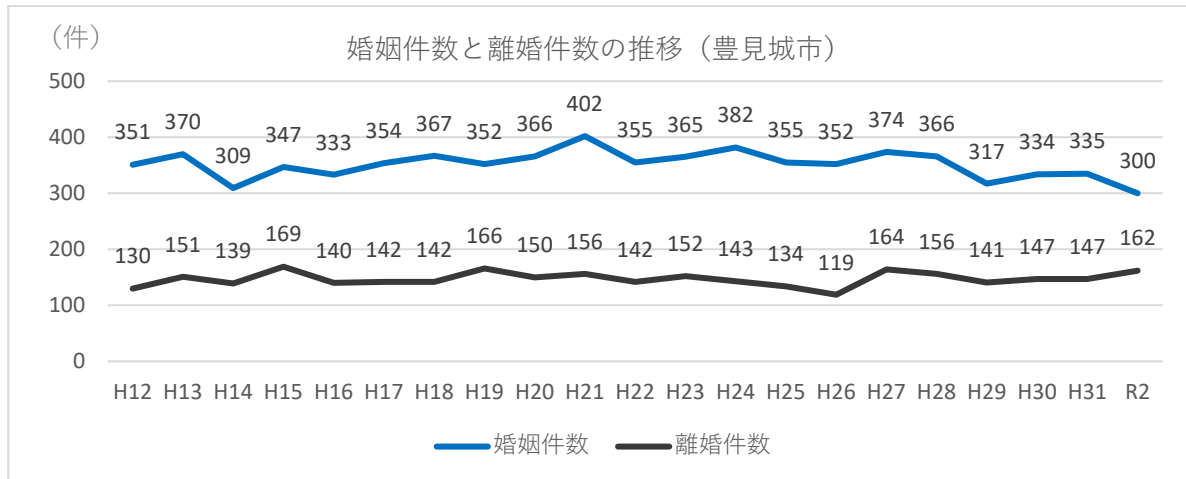
出典：人口動態統計



出典：人口動態統計

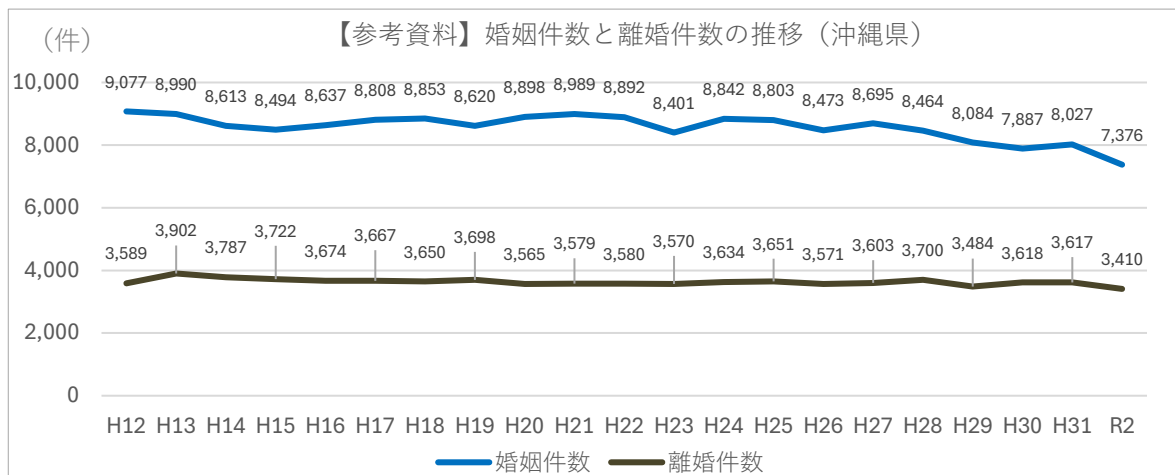
（４）婚姻・離婚の動向

本市の婚姻件数は県と同様に平成 21 年の 402 件をピークに増減を繰り返しながら緩やかな減少傾向にあり、離婚件数は近年 150 件から 160 件程度の横ばいで推移しています。



調査年	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
婚姻件数	351	370	309	347	333	354	367	352	366	402	355
離婚件数	130	151	139	169	140	142	142	166	150	156	142
調査年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	
婚姻件数	365	382	355	352	374	366	317	334	335	300	
離婚件数	152	143	134	119	164	156	141	147	147	162	

出典：人口動態統計

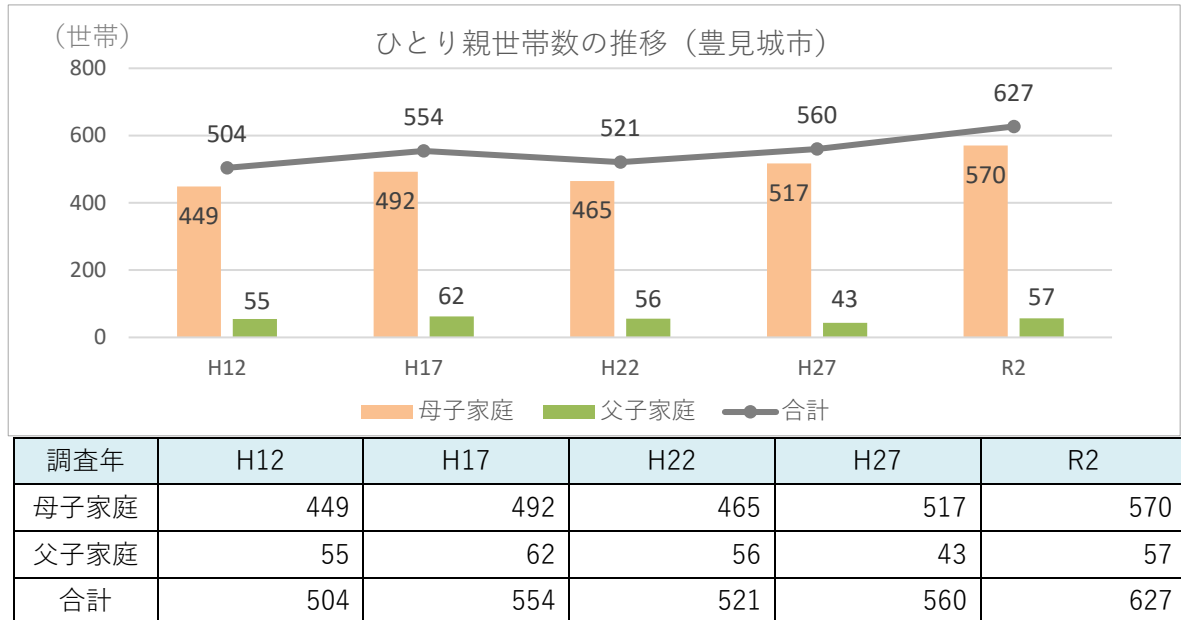


調査年	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
婚姻件数	9,077	8,990	8,613	8,494	8,637	8,808	8,853	8,620	8,898	8,989	8,892
離婚件数	3,589	3,902	3,787	3,722	3,674	3,667	3,650	3,698	3,565	3,579	3,580
調査年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	
婚姻件数	8,401	8,842	8,803	8,473	8,695	8,464	8,084	7,887	8,027	7,376	
離婚件数	3,570	3,634	3,651	3,571	3,603	3,700	3,484	3,618	3,617	3,410	

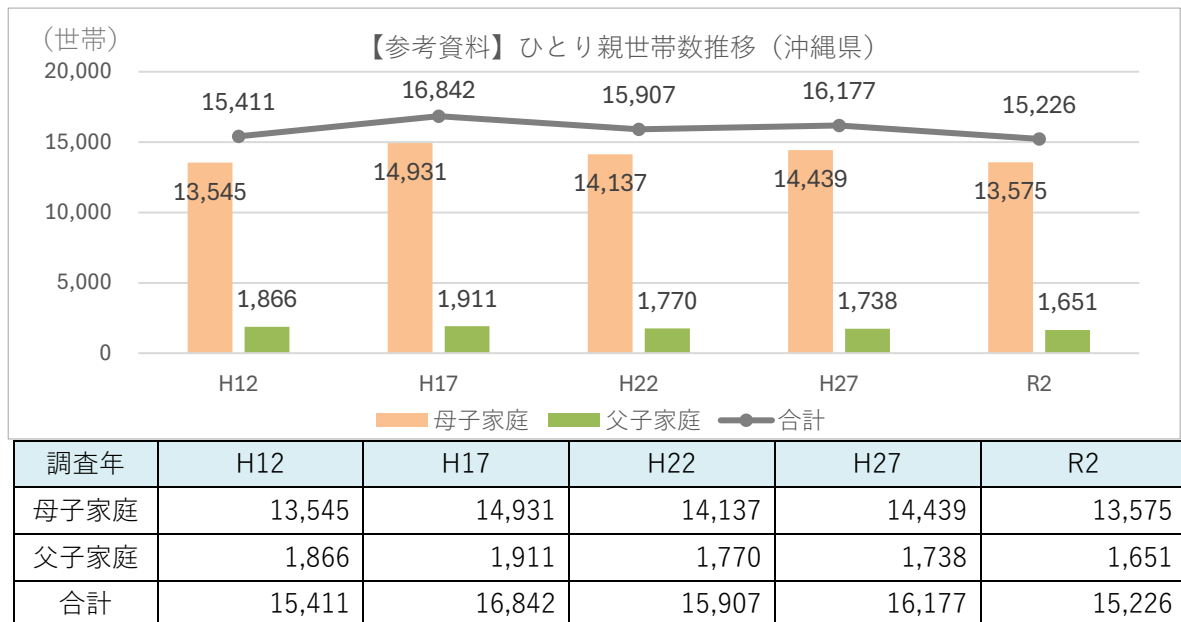
出典：人口動態統計

(5) ひとり親世帯の推移

本市のひとり親世帯の数は平成12年から増加傾向にあり、令和2年では627世帯となっています。内訳をみると母子家庭が多く令和2年においては父子家庭の10倍となっています。母子家庭においては、県全体が減少傾向であるのに対して豊見城市は増加傾向にあり、父子家庭は横ばいに推移しています。



出典：国勢調査



出典：国勢調査

2. 人口推計

(1) 総人口と年少人口

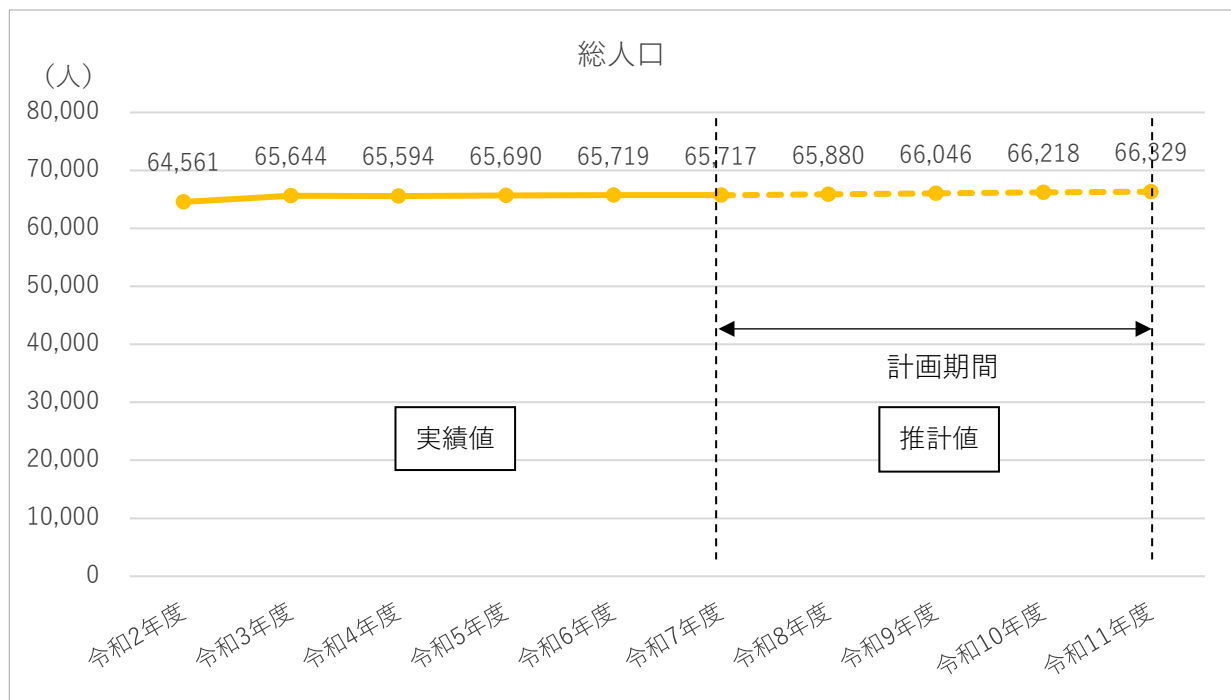
令和7年度の総人口は令和6年度と同程度で、令和8年から増加すると見込まれます。年少人口（0～14歳）の人口は令和4年度から減少し、今後もゆるやかに減少していくと見込まれます。

①総人口

単位：人

実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R2→R6
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020→2024
総人口	64,561	65,644	65,594	65,690	65,719	1,158
前年からの増減	－	1,083	-50	96	29	

推計値	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	R7→R11
	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2025→2029
総人口	65,717	65,880	66,046	66,218	66,329	612
前年からの増減	-2	164	166	172	111	



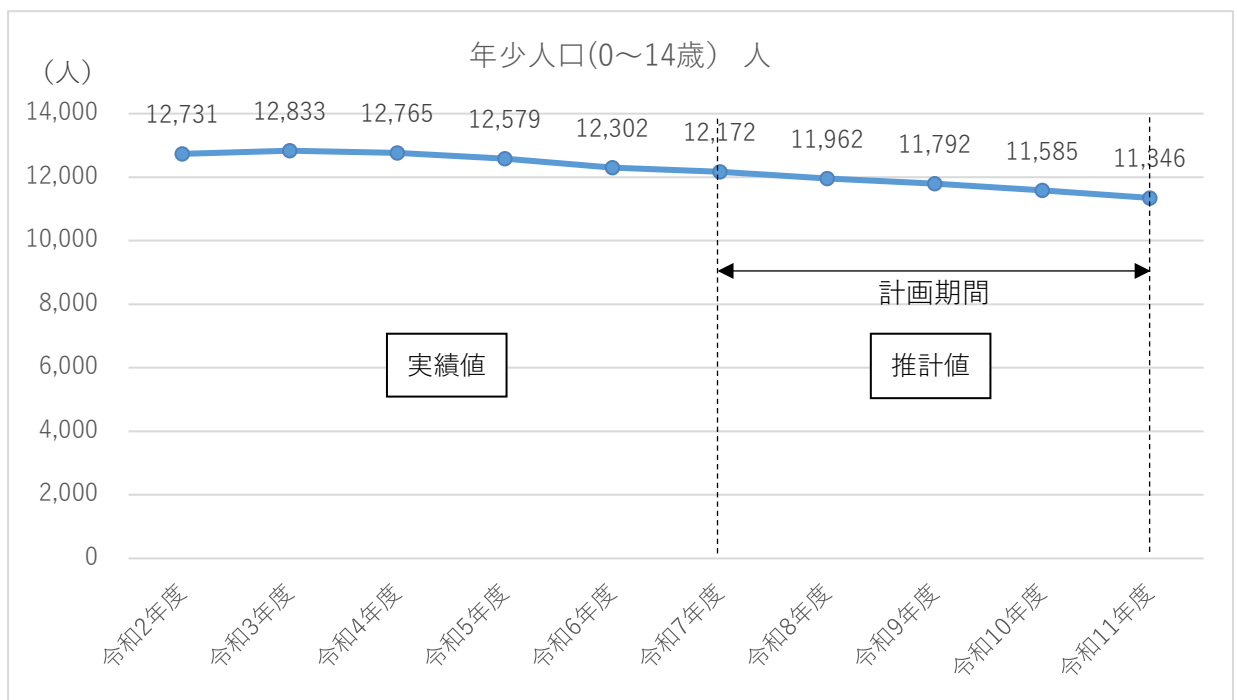
※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

②年少人口（0～14歳）

単位：人

実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R2→R6
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020→2024
年少人口（0～14歳）	12,731	12,833	12,765	12,579	12,302	-429
前年からの増減	－	102	-68	-186	-277	

推計値	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	R7→R11
	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2025→2029
年少人口（0～14歳）	12,172	11,962	11,792	11,585	11,346	-825
前年からの増減	-130	-210	-169	-207	-238	



※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

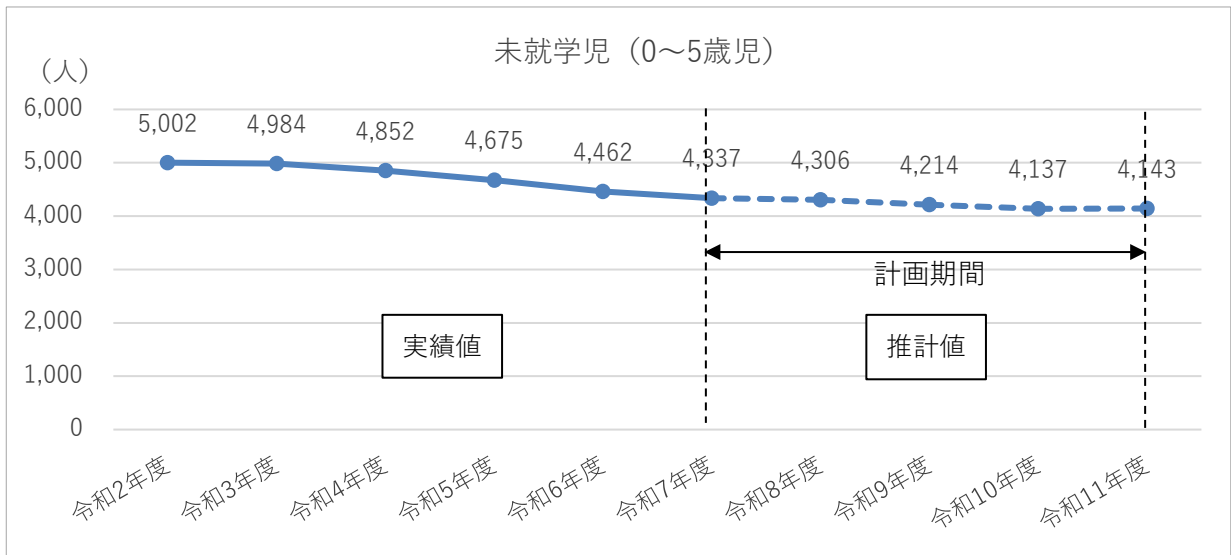
(2) 0～5歳児

0～5歳児は今後、令和11年度まで緩やかな減少傾向が続くと見込まれます。

単位：人

実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R2→R6
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020→2024
0～5歳児人口	5,002	4,984	4,852	4,675	4,462	-540
前年からの増減	－	-18	-132	-177	-213	

推計値	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	R7→R11
	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2025→2029
0～5歳児人口	4,337	4,306	4,214	4,137	4,143	-194
前年からの増減	-125	-30	-92	-77	6	



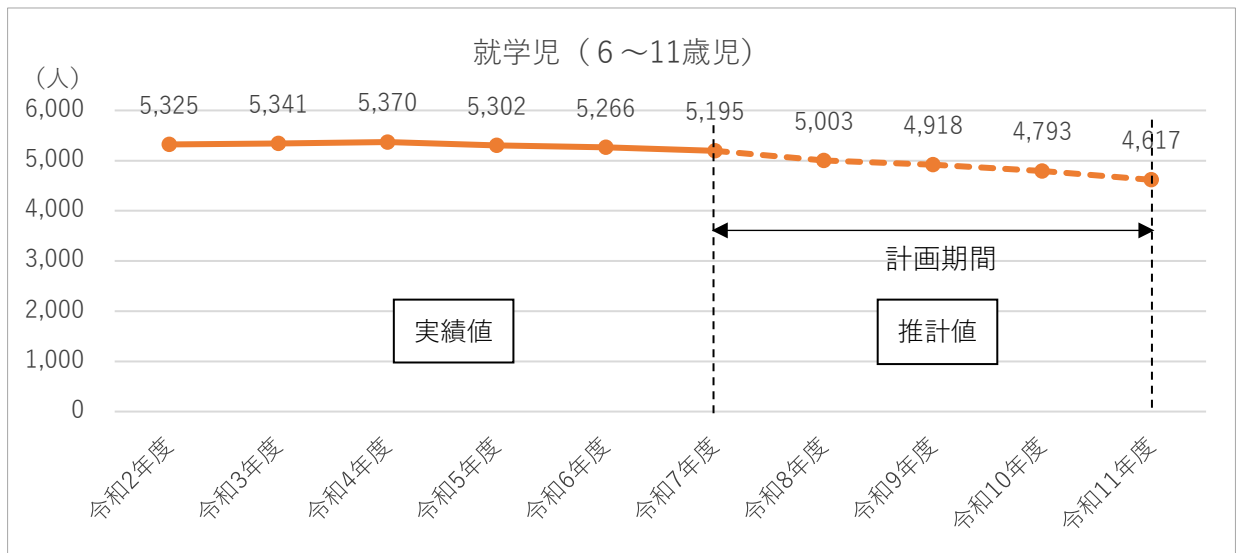
※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

(3) 6～11 歳児

6～11 歳児は、継続的な減少傾向となり令和 11 年度では令和 6 年度と比較して 649 人減少すると見込まれます。

単位：人

実績値	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	R2→R6
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2020→2024
6～11 歳児人口	5,325	5,341	5,370	5,302	5,266	-59
前年からの増減	—	16	29	-68	-36	
推計値	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	R7→R11
	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2025→2029
6～11 歳児人口	5,195	5,003	4,918	4,793	4,617	-578
前年からの増減	-71	-192	-84	-125	-176	



※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

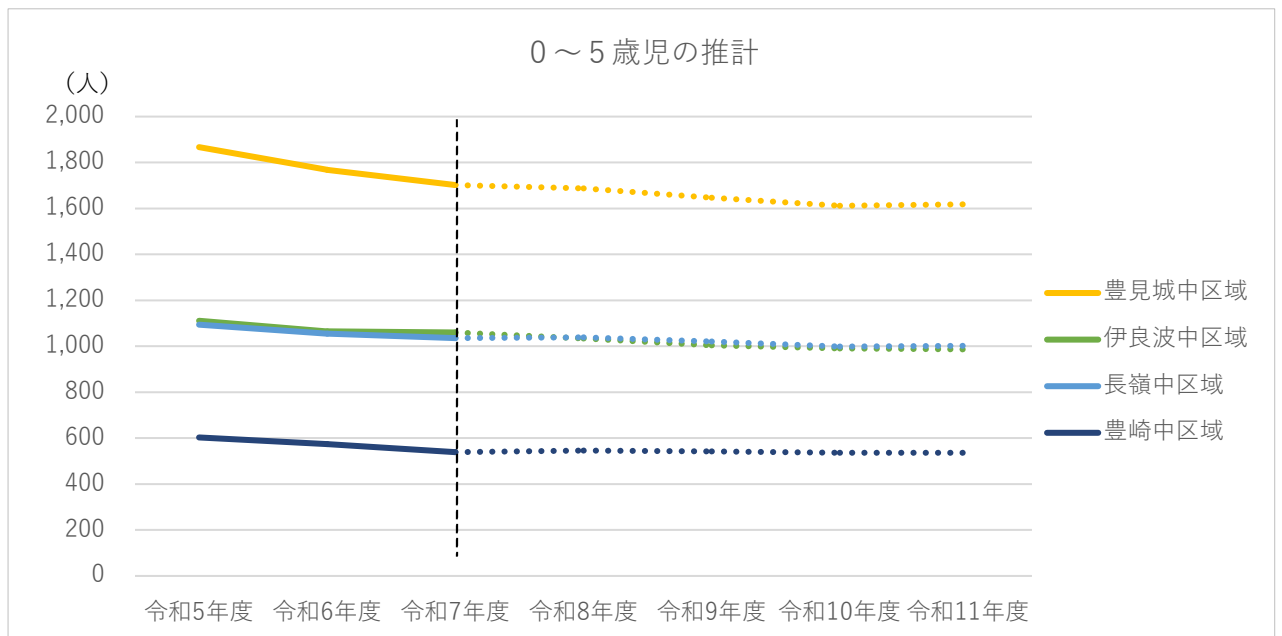
(4) 区域別の推計人口

1) 0～5歳児の推計

豊見城、長嶺中学校区では、令和7年度以降、減少状態が続きますが、令和11年度は微増になると見込まれます。伊良波中学校区域は令和7年度以降減少傾向が継続すると見込まれます。豊崎中学校区域は令和7年度以降、横ばいの状態が続くと見込まれます。

単位：人

0～5歳児	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
総数	4,675	4,462	4,337	4,306	4,214	4,137	4,143
豊見城中区域	1,867	1,768	1,702	1,687	1,647	1,612	1,618
伊良波中区域	1,111	1,065	1,060	1,034	1,004	991	986
長嶺中区域	1,094	1,055	1,036	1,039	1,021	999	1,002
豊崎中区域	603	574	539	546	542	536	536



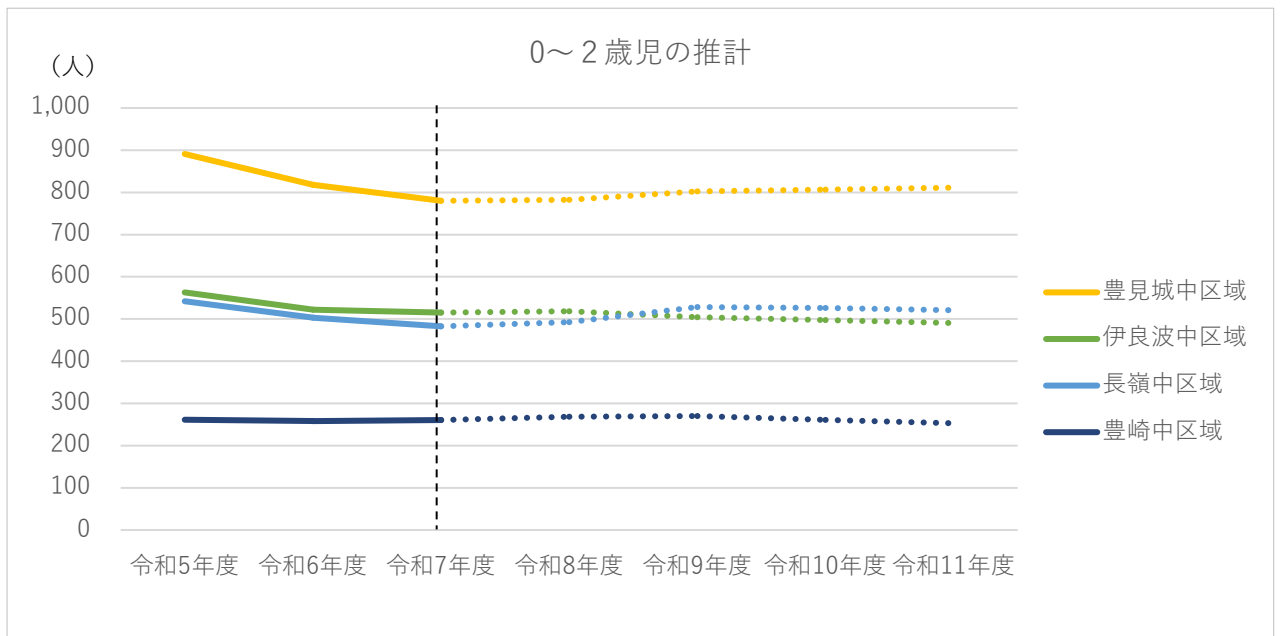
※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

2) 0～2歳児の推計

豊見城中学校区域は、令和7年度以降微増に転じると見込まれます。長嶺中学校区域は令和7年度から微増し、その後令和10年度から減少に推移すると見込まれます。新たに開校した豊崎中学校区域も令和9年度まで増加し、その後減少すると見込まれます。

単位：人

0～2歳児	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
総数	2,257	2,101	2,038	2,062	2,105	2,091	2,075
豊見城中区域	891	818	780	782	802	807	811
伊良波中区域	563	522	515	518	504	497	490
長嶺中区域	542	503	483	493	528	526	521
豊崎中区域	261	258	261	268	270	261	253

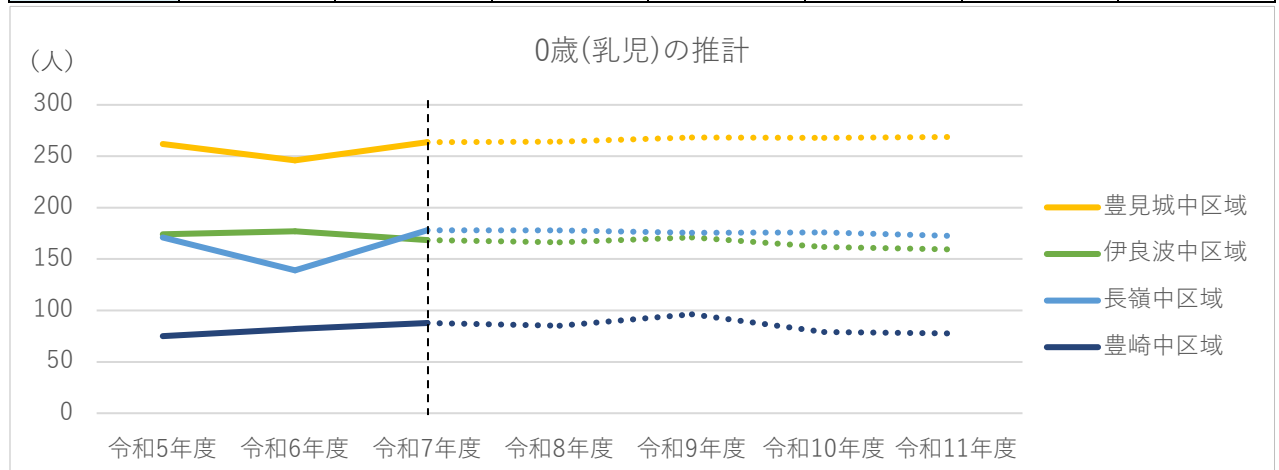


※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

① 0歳（乳児）

単位：人

0歳(乳児)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
総数	682	644	698	693	711	684	678
豊見城中区域	262	246	264	264	268	268	269
伊良波中区域	174	177	168	166	171	162	159
長嶺中区域	171	139	178	178	176	176	172
豊崎中区域	75	82	88	85	96	79	78

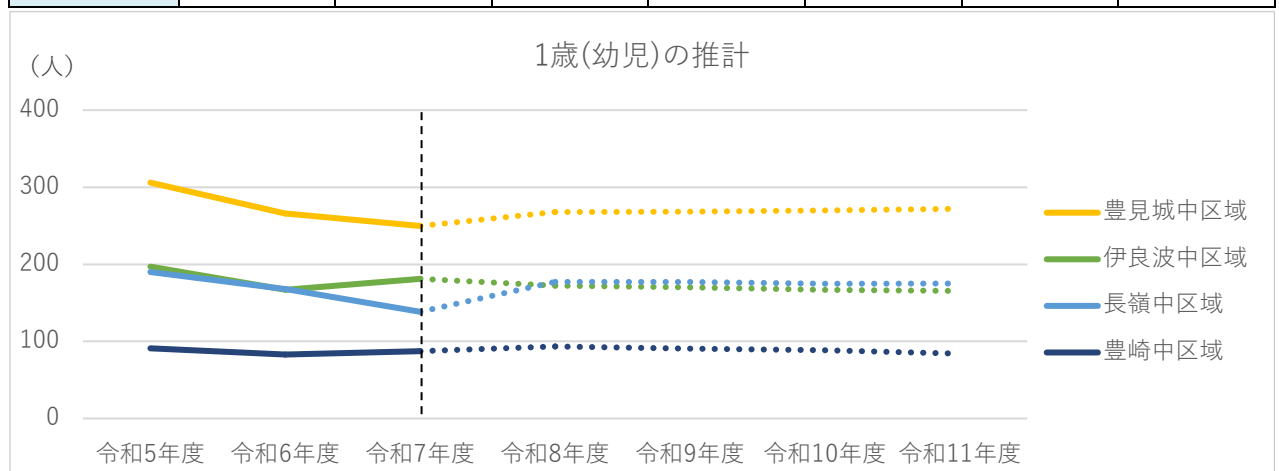


※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

② 1歳（幼児）

単位：人

1歳(幼児)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
総数	784	684	657	711	706	700	697
豊見城中区域	306	266	250	268	268	270	272
伊良波中区域	197	167	181	172	170	167	165
長嶺中区域	190	168	138	177	177	175	175
豊崎中区域	91	83	87	93	91	89	84

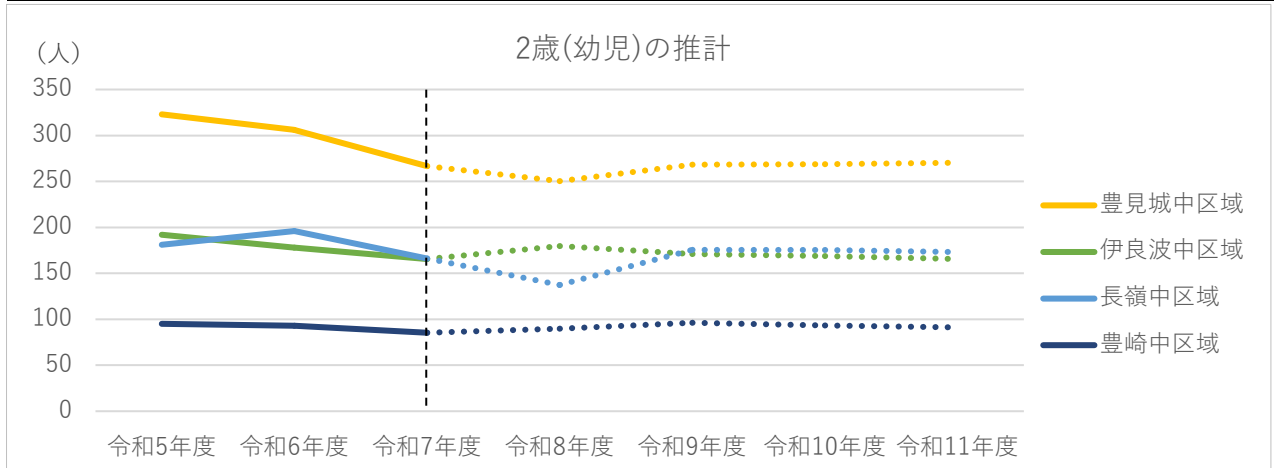


※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

③ 2歳（幼児）

単位：人

1歳(幼児)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
総数	791	773	684	657	711	706	700
豊見城中区域	323	306	267	250	268	269	270
伊良波中区域	192	178	166	180	171	169	166
長嶺中区域	181	196	166	137	176	175	173
豊崎中区域	95	93	85	90	96	93	91



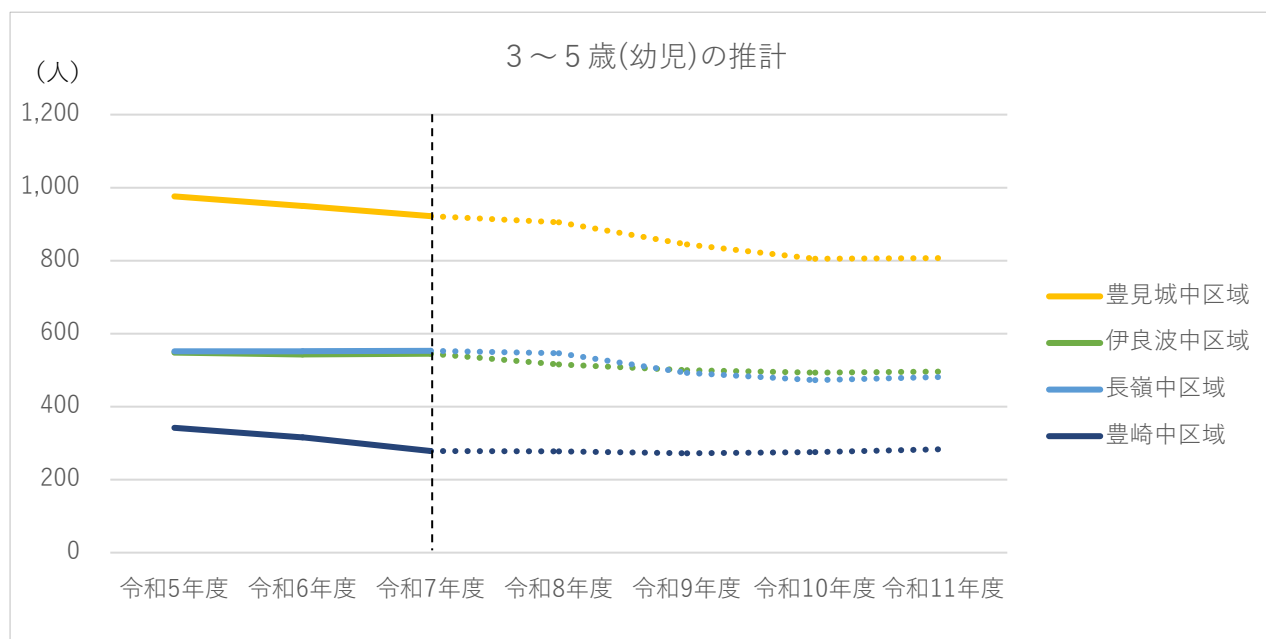
※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

3) 3～5歳児の推計

豊見城、伊良波、長嶺中学校各区域は令和7年度以降、減少状態が続きますが、令和11年は微増になると見込まれます。豊崎中学校区域は横ばいとなると見込まれます。

単位：人

3～5歳児	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
総数	2,418	2,361	2,298	2,244	2,109	2,046	2,068
豊見城中区域	976	950	922	905	844	805	807
伊良波中区域	548	543	545	516	500	493	496
長嶺中区域	552	552	553	546	492	473	481
豊崎中区域	342	316	278	278	272	275	283



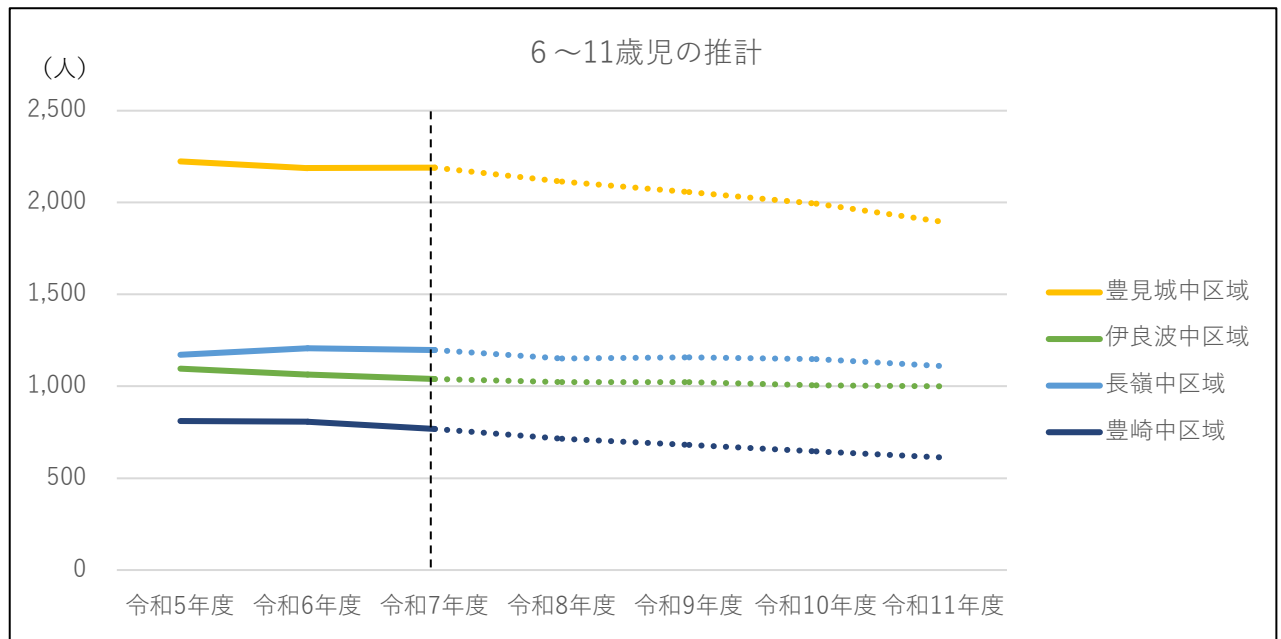
※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

4) 6～11 歳児の推計

全中学校区域で、令和 7 年度以降減少状態が続くと見込まれます。

単位：人

6～11 歳児	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
総数	5,302	5,266	5,195	5,003	4,918	4,793	4,617
豊見城中区域	2,224	2,188	2,190	2,114	2,057	1,994	1,894
伊良波中区域	1,096	1,064	1,040	1,023	1,023	1,005	1,000
長嶺中区域	1,171	1,207	1,197	1,151	1,158	1,148	1,110
豊崎中区域	811	807	768	715	681	646	613



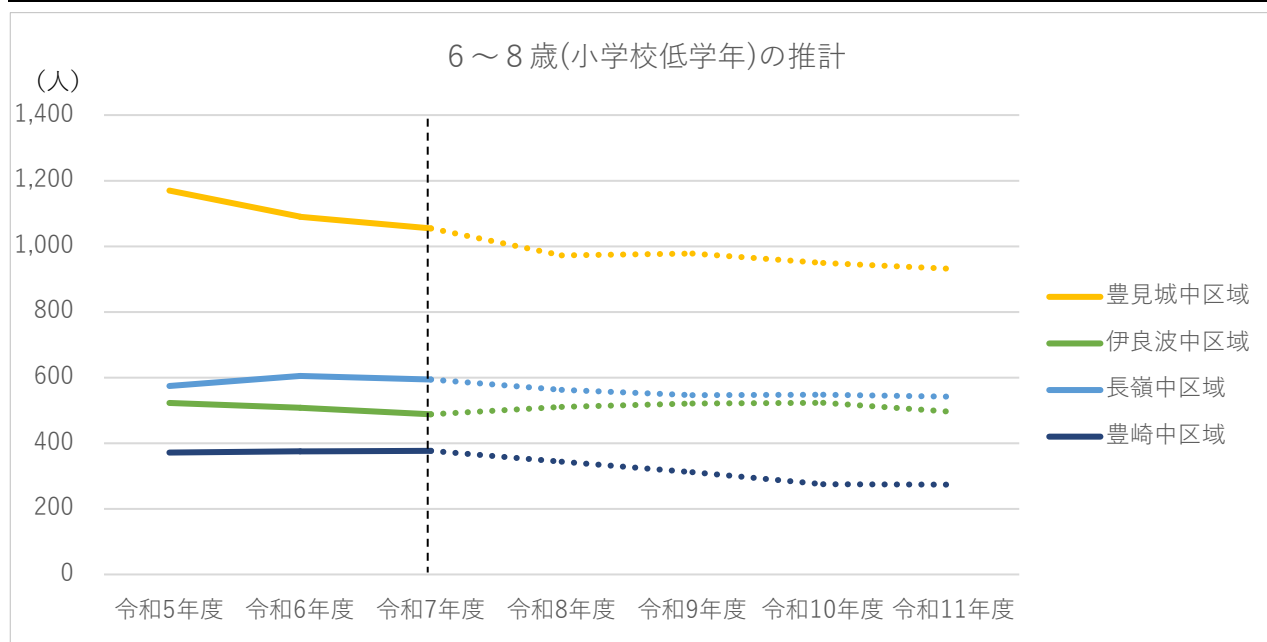
※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

5) 6～8歳児の推計

豊見城、長嶺、豊崎中学校学校各区域は令和7年度以降、減少状態が続きますが、伊良波中学校区域は令和10年に向け微増し、令和11年には減少すると見込まれます。

単位：人

6～8歳児	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
総数	2,638	2,578	2,514	2,389	2,357	2,295	2,242
豊見城中区域	1,170	1,090	1,055	972	978	949	931
伊良波中区域	523	508	488	511	521	523	495
長嶺中区域	574	605	594	563	546	548	542
豊崎中区域	371	375	377	344	312	275	274



※住民基本台帳人口（R2～R6）に基づいてコーホート要因法で算出

3. 教育・保育事業や子育て支援体制の状況

(1) 教育・保育施設等の状況

1) 認可保育施設利用申込者数の推移

認可保育施設の申込者数はやや減少傾向で推移しており、令和6年4月では3,283人で、前年よりも72人、令和2年度からは139人減少しています。

年齢別にみると、令和2年度から令和6年度まで継続的に0歳児は250人前後、1歳児から5歳児は600人前後の申込者数となっています。

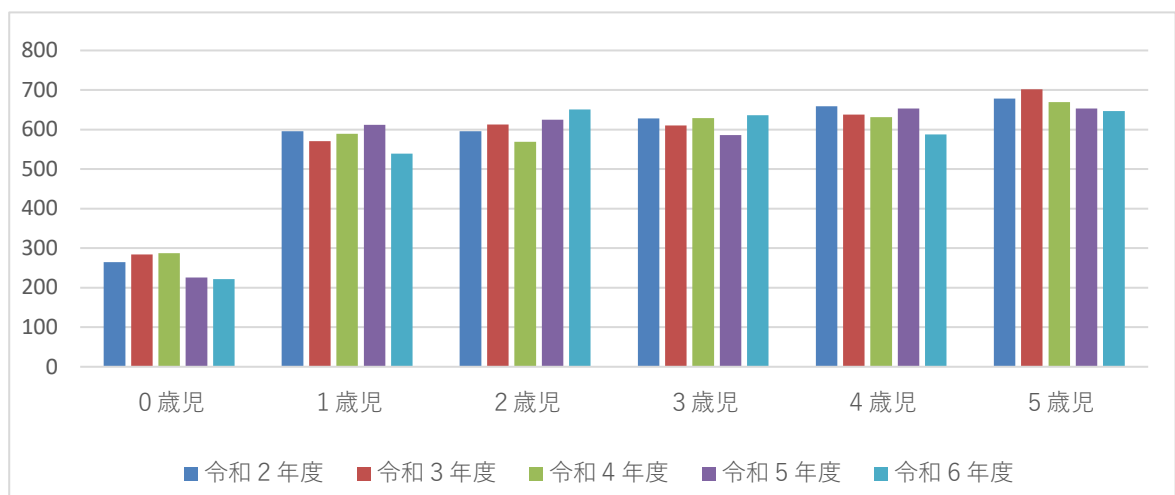
単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3歳未満児	1,457	1,468	1,445	1,463	1,412
3歳以上児	1,965	1,950	1,929	1,892	1,871
総数	3,422	3,418	3,374	3,355	3,283

(年齢別内訳)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	265	284	287	226	222
1歳児	596	571	589	612	539
2歳児	596	613	569	625	651
3歳児	628	610	629	586	636
4歳児	659	638	631	653	588
5歳児	678	702	669	653	647
総数	3,422	3,418	3,374	3,355	3,283

各年4月1日現在



２）認可保育施設の定員と利用児童数の推移

令和２年度から令和６年度まで、利用児童数を上回る定員数を確保しています。

単位：人

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
定員	3,161	3,112	3,381	3,363	3,353
利用児童数	3,091	3,142	3,245	3,206	3,130
弾力化率	98%	101%	96%	95%	93%

各年４月１日現在

３）認可保育施設

本市における認可保育施設は、令和６年４月現在において、公立２園、法人認可保育園１７園、法人認定こども園１５園、小規模保育施設７園、事業所内保育施設６園となっています。

① 認可保育所（園）の定員と利用児童数（市外からの利用園児含まず）

単位：人

No.	保育所（園）名	定員	利用児童数						
			計	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児
１	座安保育所	85	62	5	12	12	14	10	9
２	つばみ保育園	90	85	4	12	18	20	16	15
３	あゆみ保育園	150	167	17	30	36	34	30	20
４	大地保育園	140	134	12	18	24	26	27	27
５	もみじ保育園	115	101	5	20	24	20	15	17
６	むつみ保育園	140	134	16	22	23	30	26	17
７	こがねの子保育園	28	20	1	9	10	0	0	0
８	聖マルコ保育園	80	75	0	12	12	17	17	17
９	大輝保育園	80	70	0	0	18	18	18	16
10	大輝保育園分園	30	24	6	18	0	0	0	0
11	豊崎保育園	104	96	0	0	36	33	27	0
12	豊崎保育園分園	20	19	0	0	0	0	0	19
13	にじのほし保育園	45	33	9	24	0	0	0	0
14	みそら保育園	70	61	0	5	12	16	14	14
15	めぐみの森保育園	90	90	10	23	23	22	12	0
16	きゃんばす豊見城保育園	90	83	6	17	17	17	17	9
17	とみしろほいくえん	90	89	9	18	18	16	17	11
18	みや保育園	90	79	6	18	18	17	13	7
総数		1,537	1,422	106	258	301	300	259	198

令和６年４月１日現在

② 認定こども園（保育）の定員と利用児童数（市外からの利用園児含まず）

単位：人

No.	こども園名	定員	利用児童数						
			計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1	上田こども園	155	130	0	0	0	30	31	69
2	長嶺こども園	57	51	0	0	0	15	15	21
3	座安こども園	80	77	0	0	0	22	19	36
4	豊見城こども園	85	82	0	0	0	12	22	48
5	伊良波こども園	50	45	0	0	0	8	15	22
6	とよみこども園	67	55	0	0	0	14	11	30
7	豊崎こども園	90	84	0	0	0	20	20	44
8	ゆたかこども園	100	92	0	0	0	24	30	38
9	おなが認定こども園	120	114	10	17	24	22	19	22
10	ゆたか認定こども園	180	189	0	0	60	52	51	26
11	ゆたか認定こども園分園	60	84	28	56	0	0	0	0
12	認定こども園とよみ保育園	159	161	18	24	30	30	30	29
13	認定こども園レキオスキッズガーデン	60	60	6	12	12	11	11	8
14	ドレミ認定こども園	160	153	14	0	36	40	29	34
15	ドレミ認定こども園分園	30	27	0	27	0	0	0	0
16	へいわだい認定こども園	110	98	9	18	18	19	18	16
総数		1,563	1,502	85	154	180	319	321	443

令和6年4月1日現在

③地域型保育事業 小規模保育施設の定員と利用児童数（市外からの利用園児含まず）

単位：人

No.	保育所（園）名	定員	利用児童数						
			計	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
1	なごみ保育園	19	17	4	6	7	-	-	-
2	ひなた保育園	19	19	4	7	8	-	-	-
3	聖愛クロス保育園 豊崎	19	15	2	6	7	-	-	-
4	ここいろ保育園	19	15	2	6	7	-	-	-
5	あおいそら保育園	18	13	0	6	7	-	-	-
6	ファミリーキッズ	18	16	2	7	7	-	-	-
7	みつばち保育園	18	15	3	6	6	-	-	-
総数		130	110	17	44	49	-	-	-

令和 6 年 4 月 1 日現在

④ 地域型保育事業 事業所内保育施設の定員と利用児童数（市外からの利用園児含まず）

単位：人

No.	保育所（園）名	定員	利用児童数						
			計	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
1	まつみぽかぽか 保育園	19	11	1	4	6	-	-	-
2	ゆたかベビーガ ーデン	19	19	3	7	9	-	-	-
3	もりのこ保育園	19	18	2	8	8	-	-	-
4	とよみキッズガ ーデン ANNEX	19	18	0	8	10	-	-	-
5	つばみ事業所内 保育園	19	16	0	5	11	-	-	-
6	ふたば保育園	28	14	1	4	9	-	-	-
総数		123	96	7	36	53	-	-	-

令和 6 年 4 月 1 日現在

4) 令和5年4月時点と10月時点の認可保育施設利用児童数の比較

本市における令和5年度の認可保育施設は、公立2園、法人認可保育園17園、法人認定こども園15園、小規模保育施設7園、事業所内保育施設7園となっています。利用児童数は4月の3,206人から10月には3,270人へ増加しており、そのほとんどが0歳児となっています。

① 令和5年4月の利用児童数

単位：人

No.	施設種類	定員	利用児童数						
			計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1	認可保育所（園）	1,553	1,461	121	272	318	277	282	191
2	小規模保育施設	130	106	18	42	46	-	-	-
3	事業所内保育施設	140	107	9	48	50	-	-	-
4	認定こども園	1,540	1,532	73	175	181	299	350	454
	総数	3,363	3,206	221	537	595	576	632	645

令和5年4月1日現在

② 令和5年10月の利用児童数

単位：人

No.	施設種類	定員	利用児童数						
			計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1	認可保育所（園）	1,553	1,478	154	271	319	265	279	190
2	小規模保育施設	130	131	37	46	48	-	-	-
3	事業所内保育施設	142	112	12	50	50	-	-	-
4	認定こども園	1,538	1,549	86	178	177	306	351	451
	総数	3,363	3,270	289	545	594	571	630	641

令和5年10月1日現在

③ 令和5年4月と10月の利用児童数の比較

単位：人

	総数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
4月児童数	3,206	221	537	595	576	632	645
10月児童数	3,270	289	545	594	571	630	641
増加人数	64	68	8	-1	-5	-2	-4

令和5年度実績

5) 保育の待機児童数の推移

① 保育の待機児童数の推移

保育の待機児童数は令和2年度には139人でしたが、令和6年度には19人まで減少しました。
年齢別にみると1歳児と2歳児で待機児童解消に至っていません。

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	0	3	0	1	0
1歳児	91	44	5	21	9
2歳児	38	25	1	7	10
3歳児	10	2	0	0	0
4歳児	0	1	0	0	0
5歳児	0	1	0	0	0
総数	139	76	6	29	19

各年4月1日現在

② 区域別待機児童数の推移

待機児童を区域別（市内を中学校区をもととした4区域）にみると、令和6年度に関しては、長嶺中学校区で9人が最も多く、他の区域でも10人以下となっています。

(ア) 豊見城中学校区

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	0	1	0	1	0
1歳児	36	9	2	9	2
2歳児	11	11	0	3	5
3歳児	5	1	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0
総数	52	22	2	13	7

各年4月1日現在

(イ)伊良波中学校区

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	0	1	0	0	0
1歳児	30	26	2	9	2
2歳児	12	8	1	3	1
3歳児	1	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0
総数	43	35	3	12	3

各年4月1日現在

(ウ)長嶺中学校区

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	0	1	0	0	0
1歳児	23	9	1	3	5
2歳児	17	6	0	1	4
3歳児	4	1	0	0	0
4歳児	0	1	0	0	0
5歳児	0	1	0	0	0
総数	44	19	1	4	9

各年4月1日現在

(エ)豊崎中学校区

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	-	-	-	-	0
1歳児	-	-	-	-	0
2歳児	-	-	-	-	0
3歳児	-	-	-	-	0
4歳児	-	-	-	-	0
5歳児	-	-	-	-	0
総数	-	-	-	-	0

各年4月1日現在

③ 令和5年4月時点と10月時点の待機児童数の比較（保育）

（ア）令和5年4月の待機児童数（保育）

	市全体	豊見城中学校区	伊良波中学校区	長嶺中学校区	豊崎中学校区
0歳児	1	1	0	0	-
1歳児	21	9	9	3	-
2歳児	7	3	3	1	-
3歳児	0	0	0	0	-
4歳児	0	0	0	0	-
5歳児	0	0	0	0	-
総数	29	13	12	4	-

（イ）令和5年10月の待機児童数（保育）

	市全体	豊見城中学校区	伊良波中学校区	長嶺中学校区	豊崎中学校区
0歳児	14	6	3	5	-
1歳児	13	8	1	4	-
2歳児	4	2	0	2	-
3歳児	1	1	0	0	-
4歳児	0	0	0	0	-
5歳児	0	0	0	0	-
総数	32	17	4	11	-

（ウ）令和5年4月時点と10月時点の待機児童数の比較

（ア）4月 - （イ）10月

	市全体	豊見城中学校区	伊良波中学校区	長嶺中学校区	豊崎中学校区
0歳児	13	5	3	5	-
1歳児	-8	-1	-8	1	-
2歳児	-3	-1	-3	1	-
3歳児	1	1	0	0	-
4歳児	0	0	0	0	-
5歳児	0	0	0	0	-
総数	3	4	-8	7	-

6) その他の保育施設

① 認可外保育施設

市内には、認可外保育施設が7か所あり、令和6年4月現在で141人を受け入れています。年齢別では2歳児が37人と多くなっています。0歳児の受け入れは1人で、ほかの年齢と比べて少なくなっています。

単位：人

No.	保育施設名	地区 (字名)	利用児童数						
			計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1	しばみつ保育園	我那覇	17	0	4	8	3	2	0
2	にじの丘保育園	上田	21	0	7	7	3	4	0
3	iac	豊見城	51	0	0	0	19	19	13
4	みのり保育園	宜保	12	0	1	6	4	1	0
5	保育園ちびっこは うす	高嶺	10	1	1	2	3	2	1
6	スマイル保育園	真玉橋	21	0	8	10	1	2	0
7	我那覇のびのび保 育園	我那覇	9	0	3	4	2	0	0
総数			141	1	24	37	35	30	14

令和6年4月1日現在

② 認可外事業所内保育施設

市内の認可外事業所内保育施設は令和6年4月現在3か所あり、利用児童数は9人と少なく、0歳児～2歳児までが利用しています。

単位：人

No.	保育施設名	地区 (字名)	利用児童数						
			計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1	那覇バス キッズルーム	名嘉地	1	0	0	1	-	-	-
2	沖縄ヤクルト(株) 豊見城保育所	名嘉地	4	0	4	0	-	-	-
3	生協にじっ子保育園	真玉橋	4	1	1	2	-	-	-
総数			9	1	5	3	-	-	-

令和6年4月1日現在

7) 教育施設

① 認定こども園（教育）の定員と利用児童数（市外からの利用園児含む）

令和6年4月現在の認定こども園（教育）の定員は345人、利用児童数は267人となっています。5歳児の利用が多く107人が利用しています。

単位：人

No.	こども園名	定員	利用児童数			
			計	3歳児	4歳児	5歳児
1	上田こども園	65	19	7	7	5
2	長嶺こども園	15	14	2	3	9
3	座安こども園	25	24	7	7	10
4	豊見城こども園	25	26	8	8	10
5	伊良波こども園	15	14	2	3	9
6	とよみこども園	25	16	4	4	8
7	豊崎こども園	30	29	8	10	11
8	ゆたかこども園	45	31	8	10	13
9	おなが認定こども園	15	15	6	4	5
10	ゆたか認定こども園	25	25	8	8	9
11	認定こども園とよみ保育園	15	14	5	5	4
12	認定こども園レキオスキッズガーデン	15	11	6	1	4
13	ドレミ認定こども園	15	14	6	3	5
14	へいわだい認定こども園	15	15	5	5	5
	総数	345	267	82	78	107

令和6年4月1日現在

② 認定こども園（教育）の定員と利用児童数の推移（市外からの利用園児含む）

認定こども園（教育）は令和2年度以降、定員数を増加し、令和5年度には定員345人となっています。

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
定員	301	316	336	345	345
利用児童数	271	289	277	266	267

各年4月1日現在

③ 市内在住の幼児の幼稚園利用児童数（市町村別通園内訳）

市内在住の幼児の幼稚園利用児童数は35人で、市内幼稚園の利用児童数は28人となっています。市外利用についてみると、那覇市には7人が通っています。

単位：人

	那覇市	宜野湾市	浦添市	糸満市	豊見城市	うるま市	中城村	西原町	与那原町	計
市外利用	7	0	0	0	28	0	0	0	0	35

令和6年4月1日現在

④ 市内の私立幼稚園の定員と利用児童数（市外幼児含む）

市内における私立幼稚園は1施設であり、令和6年4月現在の定員は90人で利用児童数は64人となっています。午後の預かり保育は定員25人に対し、利用児童数は20人となっています。

単位：人

施設名	定員	利用児童数				午後の預かり保育		
		計	3歳児	4歳児	5歳児	定員	利用園児	給食有無
聖マタイ幼稚園	90	64	16	26	22	25	20	週4回有り

令和6年4月1日現在

⑤ 市内の私立幼稚園の利用児童数の推移（市外幼児含む）

利用数の推移をみると、令和2年度には106人でしたが、徐々に減少し、令和6年度には64人となっています。

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3歳児	34	25	25	23	16
4歳児	40	32	22	25	26
5歳児	32	35	32	21	22
総数	106	92	79	69	64

各年4月1日現在

⑥ 就学前児童の教育施設の利用児童数の推移（市外からの利用園児含む）

就学前児童の教育施設利用児童数は、令和3年度には381人でしたが、徐々に減少し、令和6年度には331人となっています。

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認定こども園	271	289	277	266	267
幼稚園	106	92	79	69	64
利用児童数合計	377	381	356	335	331

各年4月1日現在

(2) 地域における子ども・子育て支援の状況

1) 教育・保育における子ども・子育て支援事業

① 保育における延長保育

市内の認可保育施設では、すべての施設において延長保育を実施しており、保育終了は 19:00 まで（一部 18:30 まで）となっています。

単位：人

	延べ利用児童数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延長保育	733	641	596	643	643

各年度実績

② 教育における預かり保育（平日教育標準時間外保育・土曜日保育・長期休業日保育）

市内の認定こども園（教育）では、平日の教育標準時間外の保育、土曜日の保育、長期休業日の保育を実施しています。預かり保育の利用児童数は令和5年度で189人となっています。

単位：人

	年間利用児童数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
預かり保育 (認定こども園)	104	116	155	174	189

各年度実績

③ 教育・保育におけるその他の子ども・子育て支援事業

本市では、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）は実施していません。

単位：人

	延べ利用児童数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一時預かり事業（座安保育所）	793	1,101	525	1,257	807
トワイライトステイ（子育て短期支援事業・夜間養護等）	—	—	—	—	—
ファミリーサポートセンター事業（一時預かり）	642	449	460	533	290

各年度実績

2) 地域子ども・子育て支援事業（教育・保育以外）

① 地域子育て支援拠点事業

市内には地域子育て支援センターが3か所あり、相談や子育て家庭の交流の場等となっています。年間の延べ利用児童数は令和5年度で10,855人となっています。

単位：人

	延べ利用児童数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ぐっぴ〜	9,965	4,692	2,697	4,317	4,935
ふれんど	4,404	2,971	1,017	1,250	1,041
まるしえ	-	3,029	3,351	4,324	4,879
合計	14,369	10,692	7,065	9,891	10,855

各年度実績

② 利用者支援事業

施設や支援事業の利用についての相談・助言・情報提供のほか関係機関との連絡調整を行っています。

単位：か所

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
母子保健型（子育て世帯 包括支援センター）	1	1	1	1	1
特定型 （保育コンシェルジュ）	1	1	1	1	1

各年度実績

③ 養育支援訪問事業

子育てに不安を抱えていたり、さまざまな理由で子どもの養育に支援を必要としている家庭に対して、訪問により養育に関する相談、指導、助言、家事、育児、援助等を行っています。

令和6年度からは、家事・養育に係る援助や子育てに関する情報提供は「子育て世帯訪問支援事業」で行っています。

単位：世帯

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
養育支援訪問事業	18	18	18	18	17

各年度実績

④ 子育て世帯訪問支援事業

子どもの養育について支援が特に必要な家庭で、ヘルパーが自宅を訪問し、養育に関する支援を行っています。

単位：世帯

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
子育て世帯訪問支援事業	-	-	-	-	-

各年度実績（令和6年度から実施）

⑤ 病児・病後児保育事業等

病児・病後児保育の利用延べ人数は、令和5年度において465人となっています。

本市ではファミリーサポートセンター事業での病児・病後児預かりは実施していません。

単位：人

	延べ利用児童数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
病児・病後児保育事業	667	302	564	347	465
ファミリーサポートセンター事業	—	—	—	—	—

各年度実績

⑥ 子育て短期支援事業（ショートステイ（短期入所生活援助））

本市では、子育て短期支援事業（ショートステイ）は実施していません。

単位：人

	延べ利用児童数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
子育て短期支援事業	—	—	—	—	—

各年度実績

⑦ ファミリーサポートセンター事業

（ア）会員数の推移

ファミリーサポートセンターの会員数をみると、令和5年度は、おねがい会員が936人、まかせて会員も92人となり年々増加しています。年間延べ利用児童数はコロナ禍の影響もあり令和2年に減少しましたが徐々に増加し、令和5年度には2,098人の利用児童数となっています。

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
おねがい会員	666	741	807	901	936
まかせて会員	58	67	79	80	92
どっちも会員	18	20	22	23	24

各年度実績

（イ）利用児童数の推移

単位：人

	延べ利用児童数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3歳未満	1,355	156	252	293	334
3歳～5歳児		513	576	907	472
小学1年～3年生	987	763	809	509	478
小学4年～6年生		157	230	303	814
合計	2,342	1,589	1,867	2,012	2,098

各年度実績

(3) 子どもの居場所づくりの状況

1) 放課後児童クラブ

①利用児童数の推移

本市の放課後児童クラブにおけるクラブ数、利用児童数は増加傾向にあります。令和6年5月時点、市内には39か所の放課後児童クラブがあり、1,442人が利用しています。

単位：人・か所

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
クラブ数	29	32	34	37	39
1年生	433	469	465	491	501
2年生	364	382	389	405	449
3年生	211	246	262	297	318
4年生	92	103	112	100	125
5年生	32	40	36	55	33
6年生	25	14	19	9	16
合計	1,157	1,254	1,283	1,357	1,442

各年5月1日現在

② 放課後児童クラブ別の利用児童数

本市には39か所の放課後児童クラブがあり、1,442人が利用しています。1年生の利用がもっとも多く、令和6年度では501人となっているほか、2年生でも449人の利用があります。高学年になると利用は非常に少なくなっています。

単位：人

No.	名称	受入小学校	利用児童数						
			計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	長嶺児童クラブ	長嶺小学校	73	19	19	21	9	5	0
2	ゆたか学童クラブ	豊見城小学校	39	14	13	7	5	0	0
3	大地学童クラブ	ゆたか小学校	41	19	14	5	3	0	0
4	あゆみ学童クラブ	上田小学校	40	13	12	10	5	0	0
5	平和台学童クラブ	上田小学校	43	14	13	12	4	0	0
6	とよみ学童ともだちクラブ	とよみ小学校	33	9	9	10	4	0	1
7	翁長学童クラブ	座安・豊崎小学校	40	15	15	10	0	0	0
8	つばみ子どもクラブ	長嶺小学校	45	20	11	7	6	1	0
9	もみじ学童クラブ	豊見城小学校	46	9	12	11	7	7	0
10	第1どろんこ学童クラブ	長嶺・とよみ小学校	30	8	2	11	6	0	3
11	豊崎学童クラブ	豊崎小学校	40	10	9	13	7	0	1
12	平和台第2学童クラブ	伊良波小学校	23	11	3	8	0	0	1
13	キッズくらぶクローバー	ゆたか・上田・伊良波小学校	50	17	20	13	0	0	0
14	志茂田児童クラブ	座安・豊崎小学校	41	13	16	8	3	1	0
15	豊崎児童クラブ	豊崎小学校	44	17	11	8	7	0	1
16	ゆたか児童クラブ	ゆたか小学校	40	13	15	12	0	0	0
17	第2つばみ子どもクラブ	長嶺小学校	45	11	14	14	5	1	0
18	ゆたか第2学童クラブ	豊見城小学校	39	0	14	8	12	1	4
19	とよみキッズ学童クラブ	とよみ小学校	40	19	21	0	0	0	0
20	きのこがくどう	豊崎小学校	36	5	11	14	3	2	1
21	まかぶ児童クラブ	とよみ小学校	31	10	13	3	3	0	2
22	放課後児童クラブおおぞら きっず	ゆたか小学校	26	7	9	6	4	0	0
23	第2とよみ学童ともだち クラブ	とよみ小学校	18	3	7	0	4	2	2
24	なないろ児童クラブ	座安小学校	40	12	12	3	7	6	0
25	はにんすキッズ学童宜保 クラブ	上田・ゆたか小学校	32	12	10	6	2	2	0
26	上田児童クラブ	上田小学校	45	14	12	17	2	0	0

No.	名称	受入小学校	利用児童数						
			計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
27	とよみ児童クラブ	とよみ小学校	41	10	17	10	3	1	0
28	はにんすキッズ学童平良クラブ	豊見城小学校	28	13	10	4	1	0	0
29	学童教室トヨサキキャンパス	豊崎・座安・伊良波・豊見城小学校	27	7	13	6	1	0	0
30	豊見城児童クラブ	豊見城小学校	40	20	10	10	0	0	0
31	BUDDING 学童クラブ 1	上田・伊良波小学校	38	16	11	10	1	0	0
32	伊良波児童クラブ	伊良波小学校	36	15	14	7	0	0	0
33	座安児童クラブ	座安小学校	40	21	14	5	0	0	0
34	第2とよみキッズ学童クラブ	とよみ・ゆたか小学校	30	16	0	9	3	2	0
35	BUDDING 学童クラブ 2	上田・伊良波小学校	42	14	15	10	3	0	0
36	第2どろんこ学童クラブ	長嶺・ゆたか小学校	27	12	11	2	0	2	0
37	おひさまきっず	上田・ゆたか小学校	35	17	13	0	5	0	0
38	高安学童クラブ	上田・ゆたか小学校	16	11	2	3	0	0	0
39	みつばち Kid's	豊崎・座安小学校	22	15	2	5	0	0	0
	総数		1,442	501	449	318	125	33	16

令和6年5月1日現在

2) 放課後子ども教室

放課後子ども教室の実施数は、令和6年度で8か所となっています。利用児童は令和2年度から令和4年度にかけて増加していましたが、その後、令和6年度に向けて減少しています。1年生から3年生までの利用が多く、5、6年生の利用はありません。

① 利用児童数の推移

単位：人・か所

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子ども教室数	8	8	8	8	8
1年生	56	56	78	43	55
2年生	34	59	49	62	36
3年生	44	33	51	28	44
4年生	0	0	0	2	4
5年生	0	0	0	0	0
6年生	0	0	0	0	0
合計	134	148	178	135	139

各年5月1日現在

② 放課後子ども教室の利用児童数

単位：人

	名称	受入小学校	利用児童数						
			計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	ふたばの会	上田小学校	14	6	7	1	－	－	－
2	ゆいまある	豊見城小学校	20	5	10	5	－	－	－
3	伊良波小学校 放課後子ども教室	伊良波小学校	15	4	7	2	2	－	－
4	長嶺小学校 放課後子ども教室	長嶺小学校	14	2	8	4	－	－	－
5	とよみ小学校 放課後子ども教室	とよみ小学校	13	6	5	2	－	－	－
6	豊崎小学校 放課後子ども教室	豊崎小学校	19	5	8	6	－	－	－
7	ゆたか小学校 放課後子ども教室	ゆたか小学校	20	5	10	5	－	－	－
8	座安小学校 放課後子ども教室	座安小学校	20	10	7	3	－	－	－
	総数		135	43	62	28	2	－	－

令和5年10月1日現在

3) 児童館

市内の児童館は伊良波中学校区、長嶺中学校区の2か所に設置されていて、子どもの居場所、地域との関係づくり、保護者支援の場となっています。年間の延べ利用者数は令和5年度で23,725人となっています。主に小学生が利用していますが、中・高校生の利用も多く、令和5年度では3,368人となっています。

① 利用者数の推移

単位：人

	延べ利用者数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
未就学児	1,775	609	635	1,874	2,450
1年生	2,070	787	1,351	806	3,228
2年生	3,006	1,351	656	2,490	1,597
3年生	2,513	1,581	1,144	1,671	3,716
4年生	2,692	1,545	784	3,106	2,375
5年生	3,299	1,727	1,221	2,081	2,867
6年生	2,899	2,073	1,275	1,616	1,276
中学生	2,819	1,780	977	2,249	3,033
高校生	227	364	304	434	335
大人	3,392	1,758	1,369	2,613	2,848
合計	24,692	13,575	9,716	18,940	23,725

各年度実績（延べ利用者数には団体利用者、行事参加者、クラブ参加者等は含まない）

② 児童館の利用者数

単位：人

	わくわく児童館	真嘉部コミュニティセンター
区域別	伊良波中学校区	長嶺中学校区
未就学児	1,607	843
1年生	2,222	1,006
2年生	738	859
3年生	2,549	1,167
4年生	1,030	1,345
5年生	1,332	1,535
6年生	919	357
中学生	1,356	1,677
高校生	229	106
大人	1,433	1,415
合計	13,415	10,310

令和5年度実績

(4) 健康を育む保健対策の状況

1) 妊産婦健診事業

妊婦及び産婦に対する健康保持と支援強化を目的とした健康診査の費用を助成しています。

単位：回

	延べ利用回数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
妊婦健診	9,067	9,331	9,292	8,280	7,771
産婦健診	－	725	1,504	1,310	1,313

各年度実績

2) 乳児家庭全戸訪問事業

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握を行っています。

単位：人

	訪問実人数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
乳児家庭訪問	639	744	755	682	639

各年度実績

(5) 支援を必要とする家庭への対策の状況

1) 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成委員の専門性強化と、関係機関の連携強化を図る取組を行っています。

単位：協議会

	情報共有・連携強化				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
要保護児童対策地域協議会	1	1	1	1	1

各年度実績

2) 切れ目のない子育て支援のための取組

切れ目のない子育て支援を行うために、相談・支援・保護などの判断が必要な世帯等を取り残さないための取組を行っています。

	相談・支援・保護に繋げる方策の確保				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
親子教室	実施	実施	実施	実施	実施
親子通園事業	実施	実施	実施	実施	実施
子どもの貧困対策	実施	実施	実施	実施	実施

4. ニーズ調査結果概要

(1) 調査概要

1) 調査の目的

第三期豊見城市子ども・子育て支援事業計画策定に係る量の見込みの算出及び施策の検討を行うことを目的に、市内在住の就学前児童及び就学児童の保護者のニーズと就学児童本人のニーズを確認しました。

2) 調査対象

0歳～5歳の就学前児童保護者 4,500人（全数）、6歳～11歳の就学児童保護者及び本人 5,203人（全数）を対象としました。

3) 調査方法

①就学前児童

アンケートフォーム（WEB）のQRコードを付したダイレクトメールを郵送し、Webによる回収を行いました。

②就学児童

アンケートフォーム（WEB）のQRコードを付したダイレクトメールを学校経由で配付し、Webによる回収を行いました。

4) 回収

①就学前児童

令和6年5月29日に配付し、6月17日までの期間で回収を行いました。有効回答数は1,081件で、回収率は24%となりました。参考に市内在住の全就学前児童4,500人に対する必要サンプル数は、下記の算出式より354となります。

②就学児童

令和6年5月28日に配付し、6月17日までの期間で回収を行いました。有効回答数は612件で、回収率は12%となりました。参考に市内在住の全就学児童5,203人に対する必要サンプル数は、下記の算出式より358となります。

【参考】必要サンプル数の算出式

$$n \geq N \div \left[\left\{ (e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4 \right\} + 1 \right]$$

N = 母集団の数（調査対象者数）

e = 標本誤差(0.05)

n = 必要サンプル数

(※ 1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

(2) 調査結果概要

1) 就学前児童

①就学前児童の家庭状況について

「父母と子の世帯（核家族世帯）」が多く、「ひとり親世帯」は5%未満となっています。また、「3世代世帯」も4%となっています。

②子どもの育ちをめぐる環境について

日頃、子育てに日常的に関わっている人は「母親」(34%)、「父親」(27%)のほか「保育所」(15%)が多くなっており、「認定こども園」は年齢が上がるにつれ増加しています(0歳では2%、5歳で19%)。また、家族形態において「3世代世帯」が4%にとどまっていますが、子育てに日常的に関わっている人で「祖父母」と回答した人が10%いることから、同居していないものの祖父母が子育てに関わっている状況もみられます。一方で、「子どもを見てもらえる親族・知人がいない」人が全体の12%に上り、提供区域別に確認すると、豊見城中学校校区12%、伊良波中学校校区12%、長嶺中学校校区8%、豊崎中学校校区22%と豊崎中学校校区に多くみられます。

子育てについての相談先は第二期計画同様に「配偶者」(28%)のほかに「祖父母等の親族」(26%)が多く挙げられています。一方で、子育ての孤独感については3割弱の人が子育ての孤独感を感じていますが、相談先に公設の支援機関を選択した人が5%未満と少なく、利用促進への課題もみられます。子育てに関して日頃悩んでいることや気になることは「病気や発育・発達に関すること」(16%)、「食事や栄養に関すること」(16%)が多く挙げられています。

国が令和8年度から本格実施を検討している「こども誰でも通園制度」は利用したい人が半数を超え、利用したい理由として「育児の負担軽減のため」(25%)や「同年齢の他児との関わる機会を設けるため」(23%)が多く挙げられています。

③対象児童の「平日」の定期的な教育・保育サービスの利用状況について

「認定こども園」の利用児童が33%と最も多く、次いで「民間の認可保育所」が30%で続いている状況となっています。また、教育・保育サービスの利用の希望も「認定こども園」が27%と最も多い状況となっています。

教育・保育サービスを利用していない人は「子どもがまだ小さいため」との理由が42%で最も多いですが、空きがない、経済的な理由、納得できるサービスがない等、利用したいと考えているが条件が合わずに利用していない人も一定数は存在しています。

④認定こども園（幼稚園含む）及び保育園（認可外含む）の利用について

希望した時期に利用できた人が70%を超え、さらに時期や教育・保育事業を調整して利用できた人を合わせると約90%の人が利用できたと回答しています。施設の満足度についても多くの項目で80%以上が満足しています。しかしながら「行事（保育参観や運動会など）」(17%)、「保護者への情報伝達」(17%)「利用者間のネットワークづくり」(18%)の3項目の満足度が低い状況となっています。

認定こども園や保育園を選択する場合に重要視することについて、いずれも居住地に近い場所（認定こども園 30%、保育園 28%）が挙げられています。一方で、それぞれの第2位について、認定こども園は「教育・保育の方針」(17%)で「質」にかかわる部分となり、保育園では「保育士の対応」(18%)といった日頃子どもに関わる人が重要視される結果となっています。

⑤地域子育て支援センターの利用状況について

地域子育て支援センターを利用している人は9%にとどまり、91%の人が利用していないと回答しています。利用していない理由としては「こども園や保育園に通っているため」のほか「サービスについて不明な点が多い」などが挙げられています。

⑥土日・休日の定期的な教育・保育サービスについて

土日・休日の定期的な教育・保育サービスの利用については、土曜日の利用希望は約6割程度いるものの、日曜・祝日については約8割の人が利用を希望していません。

幼稚園の長期休暇中の利用は約6割の人が希望しています。

⑦病児・病後児保育について

子どもが病気やケガで教育・保育サービスを利用できなかった場合の対応として、母親が（仕事等を）休んだと回答した人が46%と最も多くなっています。病児・病後児保育施設等の利用については、利用したいと思わないと回答した人が50%を超えていました。その理由として、「仕事を休んでも自分たちで対応したい」と回答をした人が32%と多く、また「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」という意見も26%と多い結果となっています。

⑧不定期の教育・保育サービスや一時預かり等の利用について

不定期の教育・保育サービスや一時預かり等は9割の人が利用していません。その44%が「特に利用する必要がない」と回答しています。今後の利用については5割以上の人が利用したいと回答し、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等、リフレッシュ）のため」という利用目的が34%と多く挙げられています。

⑨小学校入学後の放課後の過ごし方について

小学校入学後の放課後の過ごし方として、最も多いのは「放課後児童クラブ（学童）」（低学年32%、高学年15%）となっています。土曜日の利用希望も5割を超え、長期休暇中（夏休み等）の利用希望も8割以上と多くなっています。

⑩親の就労について

母親、父親ともにフルタイムで就労している人が多い結果（母親47%、父親94%）となっていますが、母親の18%はパート・アルバイト等で就労しています。そのうち、半数以上の方がフルタイムへ転換したいと考えています。一方で、現在就労していない母親の就労希望はフルタイムではない就労形態が望まれています。

⑪育児休業について

母親の育児休業の取得状況は約7割以上の人が取得しており、父親は2割程度にとどまりました。父親の育児休業取得は第二期計画時では4%となっていました。

育児休業を取得しなかった人のその理由としては、収入が減少するなどの経済的なものと、仕事に戻りづらいなどの職場環境に関するものが挙げられます。また、必ず利用できる保育所・事業等があれば1歳（または2歳）になるまで育児休業を取得したいと回答した母親が94%と多い結果となっています。

2) 就学児童

①就学児童の家庭状況について

「父母と子の世帯（核家族世帯）」が85%と最も多い状況であるものの、「母子世帯」が10%程度あり、提供区域別に確認すると、豊見城中学校区 68%、伊良波中学校区 13%、長嶺中学校区 13%、豊崎中学校区 6%となり、豊見城中学校区に多い状況となっています。

対象児童の介助が必要な家族については、全体の1%が「いる」と回答しており、父親や兄弟の介助をしている児童がいることがわかります。

②子どもの育ちをめぐる環境について

日頃、子どもを見てもらえる親族や知人がいない人が全体の18%に上り、提供区域別に確認すると、豊見城中学校区 18%、伊良波中学校区 17%、長嶺中学校区 13%、豊崎中学校区 23%と豊崎中学校区に多くなっています。

子育ての相談先としては、第二期計画同様に「祖父母等の親族」と回答した人が24%と最も多い結果となり、「配偶者」(23%)や「友人や知人」(20%)も上位に上ります。一方で、子育ての孤独感については3割弱の人が子育ての孤独感を感じていますが、相談先に公設の支援機関を選んだ人が3%未満と少なく、利用促進の課題もみられます。

子育てで悩んでいることや気になることは、こちらも第二期計画同様に「子どもの教育に関すること」が18%で最も多い結果となっています。

③対象児童の放課後の過ごし方について

放課後を過ごす場所として、低学年のあいだは「放課後児童クラブ（学童）」を希望する人が25%と多く、高学年になるにつれて「習い事、学習塾」(25%)、「スポーツ少年団」(19%)等を希望する人が多くなり、「放課後児童クラブ（学童）」を希望する人は10%未満となっています。

放課後児童クラブ（学童）の土曜日や長期休暇中（夏休み等）の利用については、土曜日の利用を希望する人がどの学年も50%未満となっていますが、長期休暇中（夏休み等）の利用希望は高く低学年ではいずれの学年も70%以上の希望があります。

④児童館について

児童館の利用は全体の14%となり、第二期計画時よりも4ポイント上昇しました。しかしながら、低利用率には変わりなく、利用していない理由としては「児童館が近くにないから」が全体の46%を占めています。

⑤親の就労について

母親の就労をみると、全体の約60%がフルタイムの勤務形態となり、現在、パート・アルバイト等の勤務形態の人のフルタイムへの転換希望は40%程度となっています。また、就労していない人の就労希望は全体の77%にあたりますが、希望する就労形態は「パート・アルバイト等」が77%と多い状況となっています。

⑥対象児童本人への意向確認

学校が終わってからの時間は「楽しい」、「まあまあ楽しい」と回答した児童が96%となっていて、ほとんどの児童が楽しく過ごしていると回答しています。

学校の日、休日のそれぞれ一番好きな時間については、学校の日においては「お友達と遊ぶ時間」(28%)や「おうちで過ごす時間」(24%)と挙げている児童が多く、各々の時間を過ごすこと

が好きである様子がわかります。一方で、休日においては「お出かけなどの家族の時間」（45%）「おうちで過ごす時間」（26%）が多く、休日は家族との時間を過ごすことが好きであることがわかります。

寂しいと思うときの有無について、26%の児童が「ある」と回答しました。その主なシチュエーションとして、「1人で家にいる時」と回答した児童が42%と最も多く、小学生の児童が一人で過ごさなければならない状況があり、その時に寂しさを感じていることがわかります。

学校が終わってからの過ごし方別に確認すると、「放課後児童クラブ（学童）」や「放課後子ども教室」などの保護者が就労のために子どもの居場所を利用している児童が「さびしいと思うときがある」と回答する割合が比較的高い傾向にあります。

5. ヒアリング調査及び児童ワークショップ結果概要

(1) 各施設及び保護者ヒアリング調査

1) 調査概要

①調査目的

定量調査となるニーズ調査では把握することができない子育てにかかるニーズの深堀と、実際に子どもたちと接して事業を実施する各施設における課題を確認し、これからの子育て支援策の検討に役立てることを目的とします。

②調査対象

(ア)子ども・子育て関係施設

保育園（認可保育園・認可外保育園）、幼稚園、認定こども園、子育て支援センター、放課後児童クラブ、児童館、子ども食堂、関係各課

(イ)保護者

就学前児童保護者3名、就学児童保護者2名

③調査の期間と方法

(ア)子ども・子育て関係施設

令和6年8月19日～11月8日の期間で、それぞれオンラインミーティングや電話でのヒアリングを実施しました。

(イ)保護者

就学前児童保護者（令和6年6月30日）、就学児童保護者（令和6年7月2日）に対して、それぞれ対面でグループインタビューの方法でヒアリングを実施しました。

2) 調査結果概要

①教育・保育について

保育施設（認可保育園・認可外保育園・認定こども園）

- 保育士の不足により保育士1人当たりの仕事量が増え、休暇や休憩が取れない状況が生まれる等、保育士不足は喫緊の課題となっており、施設の受入数を制限せざるを得ない状況である。（認可保育園・認可外保育園・認定こども園）
- 受入れ時間の設定は、できるだけ利用者の希望に対応し、かつ保育士の負担を軽減することとも考慮して行っているが、近年では延長保育の利用希望も増えてきている。（認可保育園・認可外保育園）
- 施設の空調設備整備や安全に登園するための周辺整備についても予算上制限せざるを得ない状況となっている。（認定こども園）
- 近年は保護者との連絡にICTを活用したシステムを利用しているので、便利になった一方で、保護者と直接のコミュニケーションが希薄になることも懸念される。（認可保育園）
- 保育料の負担や無償化のタイミングを理由に子どもが退園する状況があることから、行政とコミュニケーションを取りながら施設の状況に合わせた事業展開を進めたい。（認可外保育園）

- 行政や各団体等、それぞれの特性を活かしなら連携を取り、子どもたちの安全・安心な保育について協議しながら事業を進めていくことを望んでいる。（認定こども園）
- ITやSNSの普及により子育てに関する情報を保護者が気軽に入手できる状況になっているので、育児に関して多くの知識を持つ保護者が増えていると同時に、父親の育児参加も増加している。（認可保育園・認可外保育園・認定こども園）

幼稚園

- 土日や夏休みの利用ニーズもある。
- 近年の気候変動による日中の暑さ対策や、子どもたちの安全な遊びの確保のための環境整備をしたい。

②子育て支援について

就学前児童保護者

- 子育てで不安になったときに気軽に相談できる場所があると良いが、子育て支援センターをよく知らない。また、どのタイミングで利用してよいのかわからない。
- 不定期に子どもを預かってほしいが、ファミリーサポートセンターは手続きに手間がかかるため利用していない。

子育て支援センター

- 定期的な健診や訪問事業の際に施設の案内をしているが、施設の利用につながっていない。（関係課）
- 子育て中の息抜きで利用する保護者もあり、各支援を気軽に利用できる環境づくりが課題である。（子育て支援センター）

③子どもの居場所について

放課後児童クラブ・児童館

- 人材の確保・育成が課題となっている。（放課後児童クラブ・児童館）
人材が確保できないことにより児童の活動の制限や定員の抑制をしなければならない状況もある。（放課後児童クラブ）
- 放課後児童クラブを利用する保護者は、学校や自宅から近い施設を望んでいる。また、送迎支援の有無や利用料金も施設選択の判断材料となっている。（放課後児童クラブ）
- 早めの開所や受入時間の延長、長期休暇時の受け入れを望む声がある。（放課後児童クラブ）
- 子ども同士の交流や各施設との情報交換等が必要だと感じている。各種イベントを通して地域の方と交流をしているが、今後は小学校や放課後子ども教室、児童デイサービス等とも交流を図りたい。（放課後児童クラブ）
- 児童館は市内2か所に設置されているが、放課後の利用は徒歩で来館できる近隣の児童が多く、遠方からの利用はほとんどない。（関係課）

就学児童保護者

- いろんな施設に児童館の機能を持たせて、子どもの居場所を増やしてほしい。

子ども食堂

- 登録者に対して朝食及び夕食の提供を行っているが、朝食の利用が少なく、朝食をとらずに登校している児童がいることが懸念される。

-
- 支援を必要とする児童はたくさんいることが予想される。まだ子ども食堂に利用登録の無い子ども達に子ども食堂を周知し支援を広げる必要があると感じている。

(2) 児童ワークショップ

1) ワークショップ概要

①目的

当事者である子ども本人が、日頃、何を感じているのか、何を望んでいるか等、子ども本人の意見を確認することを目的とします。

②対象

上田児童クラブ 42 名

長嶺児童クラブ 47 名

③実施日とプログラム

令和 6 年 10 月 28 日 上田児童クラブ

令和 6 年 10 月 30 日 長嶺児童クラブ

ワークショップのプログラム

1. 目的説明とグループ分け
2. 【確認】学校が終わってからどんな風に過ごしている？
3. 【質問】学校が終わってから何がしたい？

お父さん・お母さんは学校が終わってから何をしてほしいと思っていると思う？

学童でどんなことをやってみたい？

夏休みは何をしたい？

2) ワークショップ結果概要

①学校が終わってからやってみたいことと親がやってほしいと思っていること

ヒアリングを行った学童において、普段行っている内容は、下校後に学童で宿題を終わらせて、おやつを食べた後に自由時間として遊びが取り入れられている環境です。

学童に通っている児童に対して「下校後に何をしたいか」という質問を行ったところ、各グループとも「遊びたい」という意見が多く挙がりました。その内容は友達やいとこ等を遊ぶ相手として、スポーツや虫取り等の体を動かす遊びや家でゲーム等の遊びが挙げられました。また、ピアノやダンスといった習い事を挙げる児童もいました。

一方で、「親は下校後に何をしてほしいと思っているか」という質問に対しては「宿題」「勉強」「お手伝い」といった内容が挙げられました。そのため、児童がやりたいことと保護者がやってほしいと思っていることのギャップがみられ、児童は自分のやりたいことが本音としてあるなかで、親がやってほしいことも理解して日々を過ごしている状況がみられました。

②学童でやってみたいこと

学童でやってみたいこととしては、各グループとも「お祭り」「お泊り会や旅行」「遠足」などのイベントや「料理」「動物を飼育する」「社会見学」などの体験を挙げていました。また、遊びについては「ボール遊び」、「運動」、「水遊び」、「映画鑑賞」などが挙げられました。

③夏休みなどの長期休暇にやってみたいこと

夏休みなどの長期休暇にやってみたいことは各グループとも「家族旅行」（新幹線や飛行機に乗りたい）や「家族と遊びたい」という意見が多く挙げられました。また、いとかや友達と遊びたいという意見も挙げられました。

夏休みなどの長期休暇にやってみたいことでは、学校が終わってからやってみたいことではあまり挙がらなかった「家族と一緒に」という意見が多く挙げられたのが特徴的で、普段では体験できないことを家族でやってみたいと考えている児童が多くいる状況がみられました。
